

# CS Dreamweaverの新規作成方法

## HTMLを作成する

ファイル → 新規 → ページタイプ → “HTML”を選択 → HTMLを保存

## CSSを作成する

ファイル → 新規 → ページタイプ → “CSS”を選択 → CSSを保存

## HTMLとCSSをリンクする

HTMLの画面に戻る → トップメニューのフォーマット →

CSSスタイルの添付 → 参照 → 保存したCSSを選択 →

HTMLとCSSがリンクされる

CSSスタイルにリンク名が出ているか確認 → 選択した状態で作成していく

## BODYのCSS設定

フォーマット → CSSスタイル → 新規 → 複合(選択画面に基づく)を選択

bodyが出てくる → OKをクリック → CSSルールの定義が出てくる →

ボックスを選択 → PaddingとMarginを全て0にする → OK

## Divタグを挿入

Divタグを挿入設定の挿入ポイントから開始タグの後を選択 → bodyが表示

→ IDのフォームにアルファベットの名前を入れる例えば“wrapper” →

フォーマット → 新規 → 複合(選択画面に基づく)を選択 →

#wrapperが出てくる → OK → CSSルールの定義が出てくる →

サイズやフォント、Padding Marginなど設定をしていく →

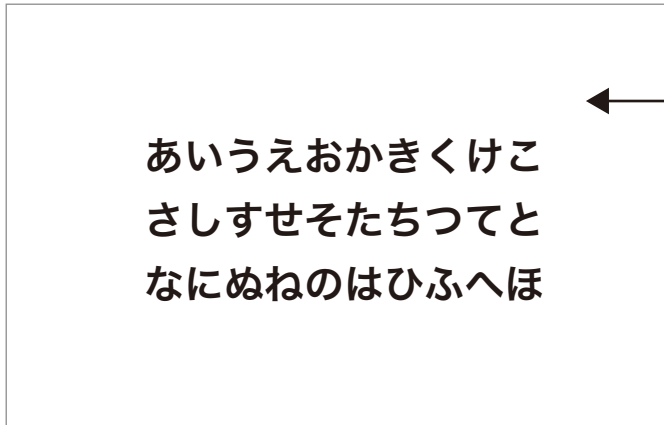
この作業を繰り返しレイアウトをしていく

# テキストの設定方法

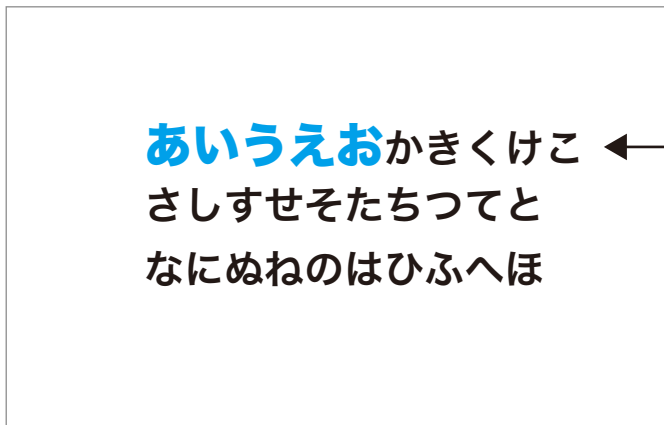
## DIVで設定する

CSSにつくった#○○○○を選択して設定していく

DIV全体に設定される



← DIVの中に入っている文字  
全てに設定される



← 一部だけ設定を変えたい場合は  
<span>というタグを使う

## spanの設定

`<span class="○○○○">あいうえお</span>`

## CSSに先につくる場合とhtmlに先にソースをつくる場合がある

### ● CSSに先につくる…

フォーマット → 新規 → クラス(htmlエレメントに適用可能) → 名前設定  
→ .○○○○でCSS設定に表示される

### ● htmlに上記のソースを先につくる…

ソースを書く → 名前を選択 → 複合(選択に基づく) → 名前が出てくる → OK  
→ .○○○○でCSSに設定される

# テキストの設定方法 2

## ● CSSに先につくる・・・

フォーマット → 新規 → クラス(htmlエレメントに適用可能) → 名前設定  
→ .○○○○でCSS設定に表示される

## DIV classで設定する

CSSにつくった.○○○○を選択して設定していく

テキストの書体、サイズや行間をとりあえず設定。

テキストの流し込み

にとて使い易さとな機能そして柔軟性のある作業環境は最も大切な要素です加えて日本語版にはすべてのプが切望していたがあります雑誌新聞書籍広告を問わず編集の様々なでの豊富な機能が、あなたの

複数コピー  
できる



にとて使い易さとな機能そして柔軟性のある作業環境は最も大切な要素です加えて日本語版にはすべてのプが切望していたがあります雑誌新聞書籍広告を問わず編集の様々なでの豊富な機能が、あなたの

# div classの設定方法

## CSSに先につくる

フォーマット → 新規 → クラス(htmlエレメントに適用可能) → 名前設定

→ .○○○○でCSS設定に表示される → サイズや情報を設定 → OK

Divタグの挿入 → 挿入ポイントを選ぶ → クラス名のところ上下をクリック

→ CSS設定に設定した名前が出てくる

## classについて

### classはテキストだけではなく画像にも設定できる

画像配置のソースはこんな感じ

```

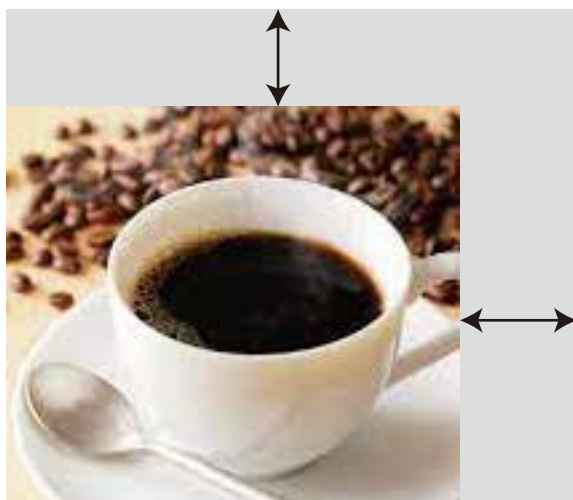
```

### CSSに先につくる場合

#### ● CSSに先につくる…

セレクトの+クリック → .で始まるアルファベット名を入力 →

それを選択した状態 → marginなどを設定



marginつまり  
外側のスペースをつくる

```

```

というソースになる

# まとめ

- divは全体を包む箱
- <div id=""> </div> (一つしか使えない)と  
  <div class=""> </div>(複数に使える)がある。
- <span class=""> </span>はテキストの一部を設定する時使用
- class=""は画像にも使用できる

# **Dream Weaver CSの 新規基本設定の説明**

1

最初に必ず  
フォルダを作成



DWを開く

# HTMLの 設定



2

ファイルから新規

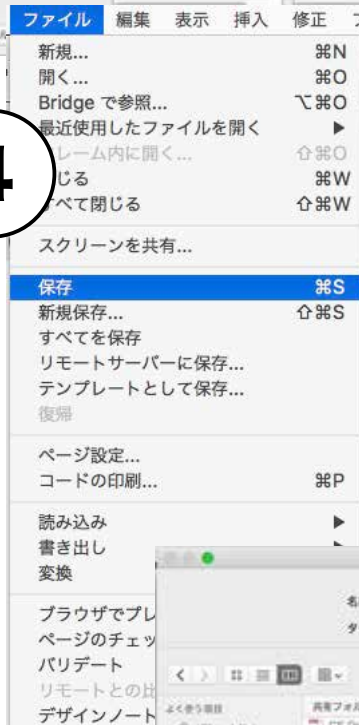
3

HTMLを選択



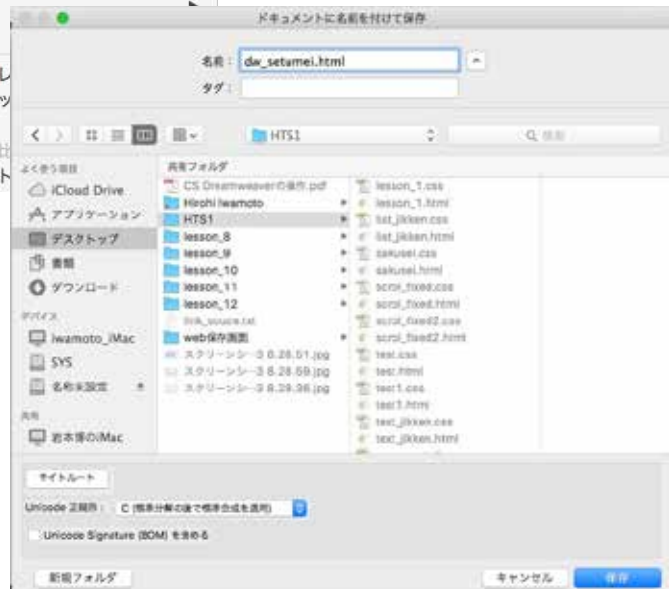
ファイルから保存

4



5

HTMLを  
名前をつけて保存



# CSSの設定

HTMLはレイアウトを表示し  
CSSは情報を管理するという役目  
なので常に2つの異なる要素を  
設定していくという認識



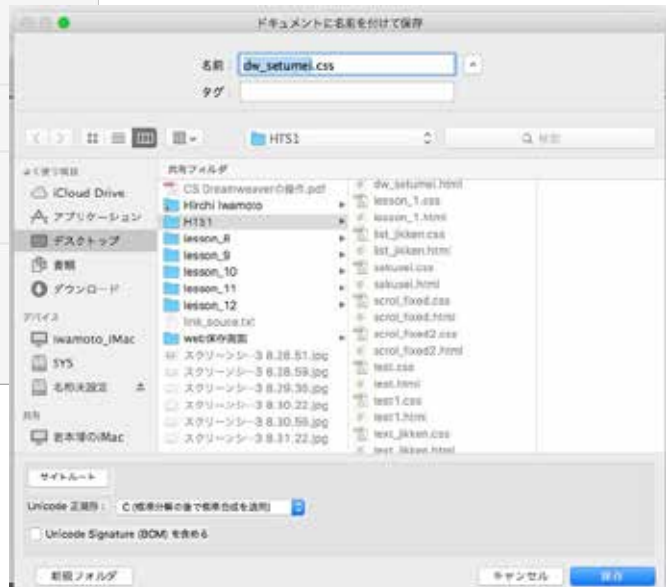
6 新規から



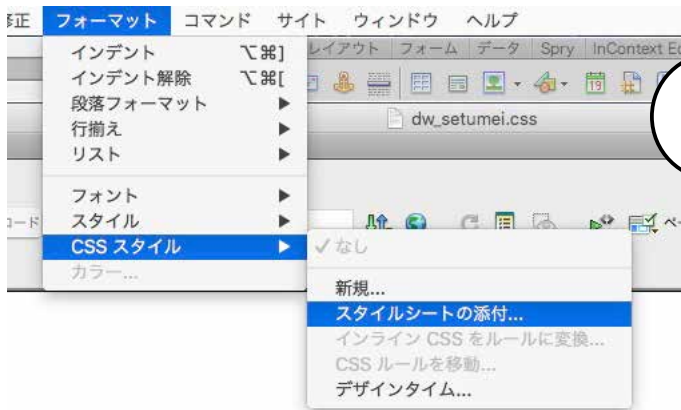
7 CSSを選択



8 CSSを保存





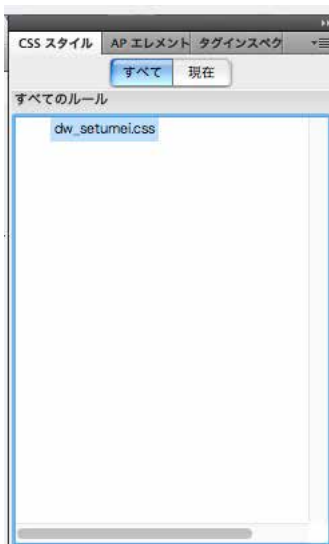


9

CSSをリンクする

10

参照から選択してOK



11

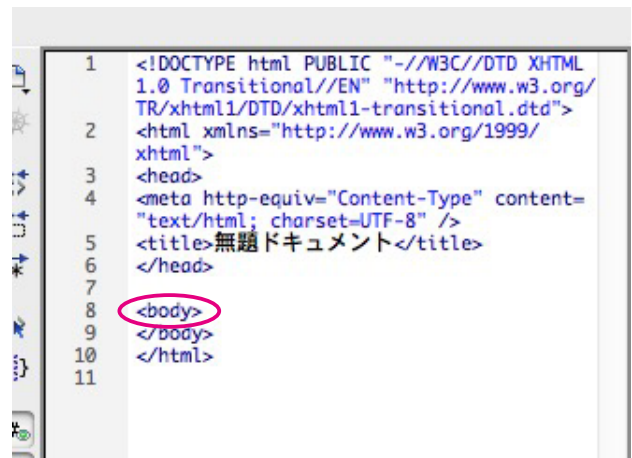
CSSスタイルに表示を確認

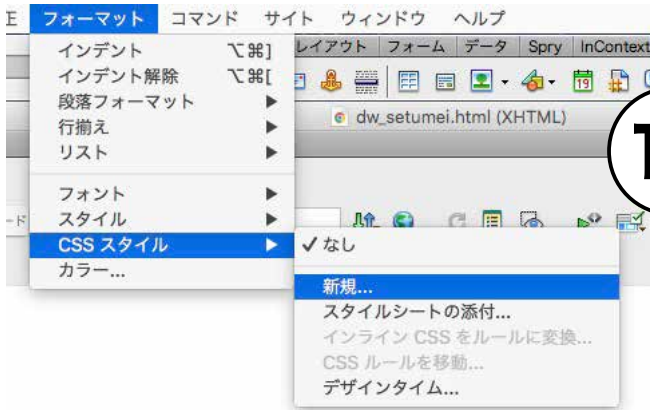
12

コードのbodyに  
カーソルを入れる

## bodyの設定

bodyの設定で  
画面の余白をなくす



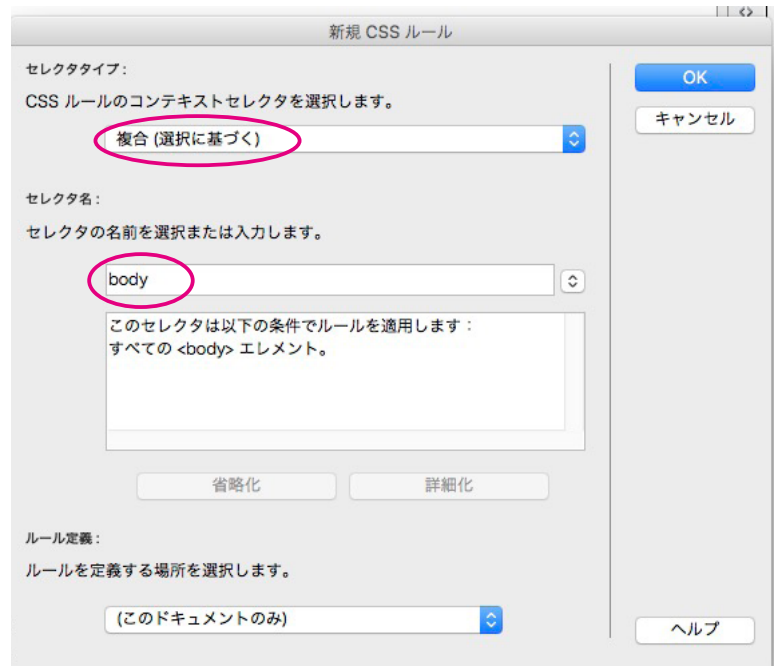


13

## フォーマットから CSSスタイル→ 新規

このフォーマットから  
新規の設定は  
CSSに登録するという作業になる  
(HTMLとCSSの別々の作業があるという認識、  
この作業は何度も出てくる)

## 14 複合(選択に基づく) bodyが出てくる



設定が開く



15

Padding  
Marginを全て0に

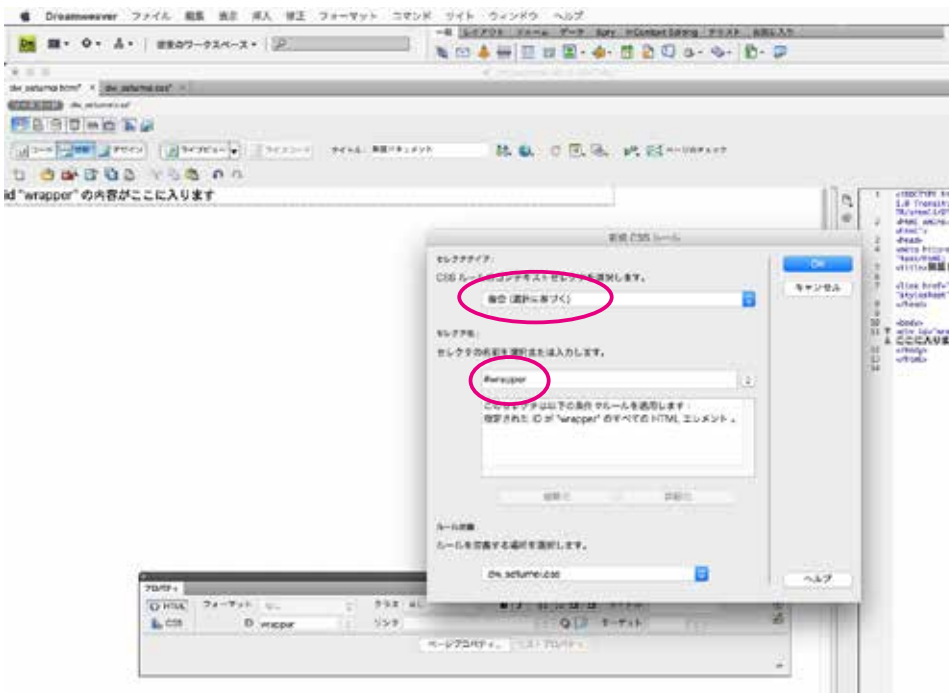
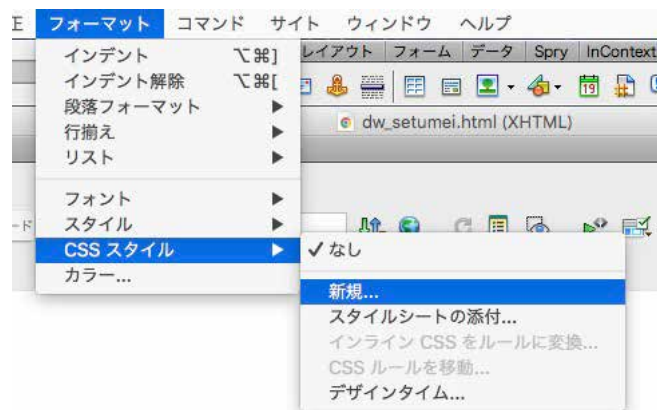
# 16 挿入から divタグを挿入

## wrapperの設定



# 17 IDにwrapperを設定

# 18 divが選択された状態で新規設定を行う



# 19 wrapperタグを選択した状態で

設定が開く





20

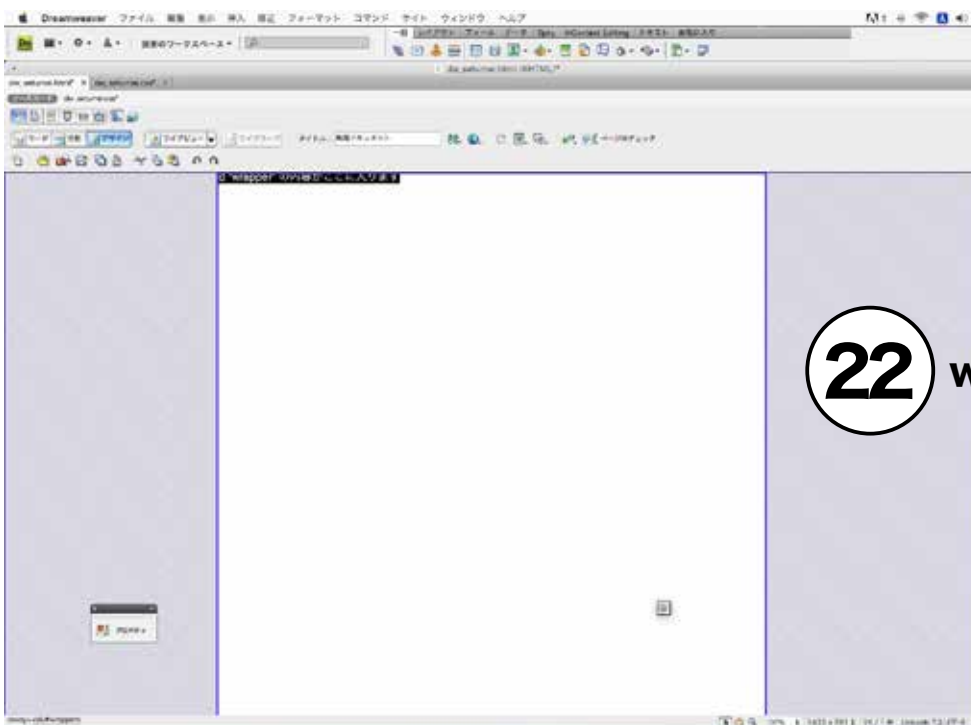
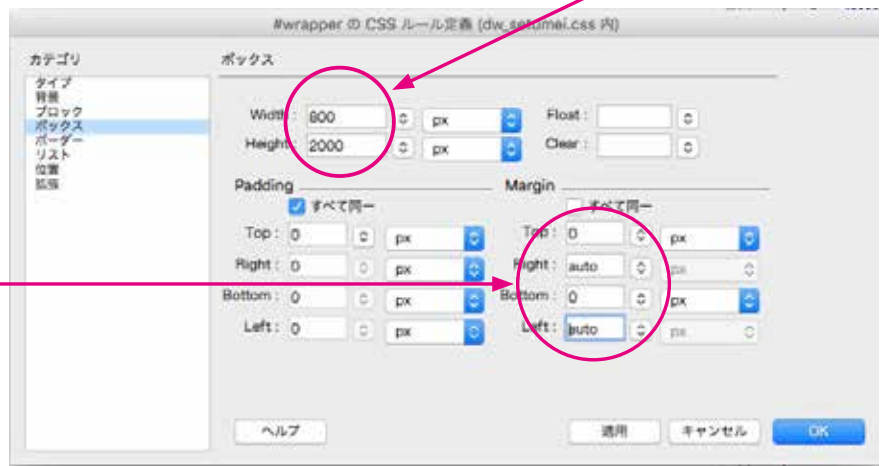
ベースとなる  
書体がある場合  
wrapperで  
書体を選んでおく  
(しなくても良い)

21

サイズ設定と  
Padding Marginを設定

サイズを設定

Right Leftを  
autoにすることで  
wrapperを  
中央に配置



22

wrapperが中央に

# wrapperの中に レイアウトをしていく

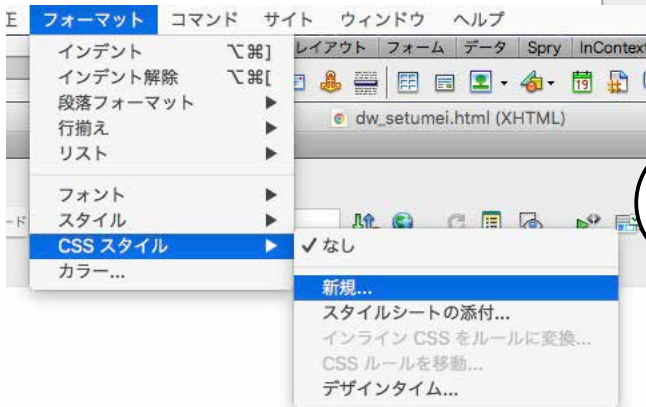
23

挿入から  
divタグを挿入

例えば  
titleを入れる場合

24

divの名前を設定

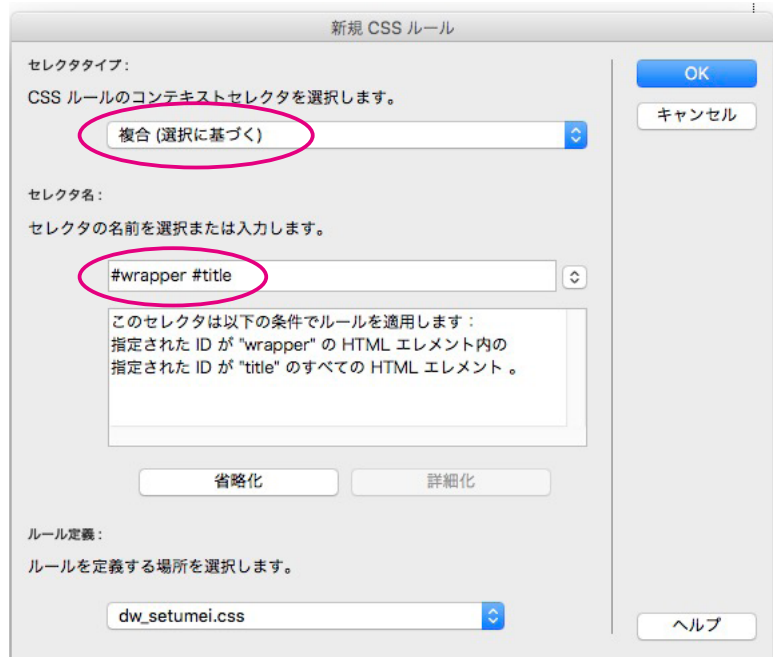


25

divが選択された  
状態で新規設定  
を行う

26

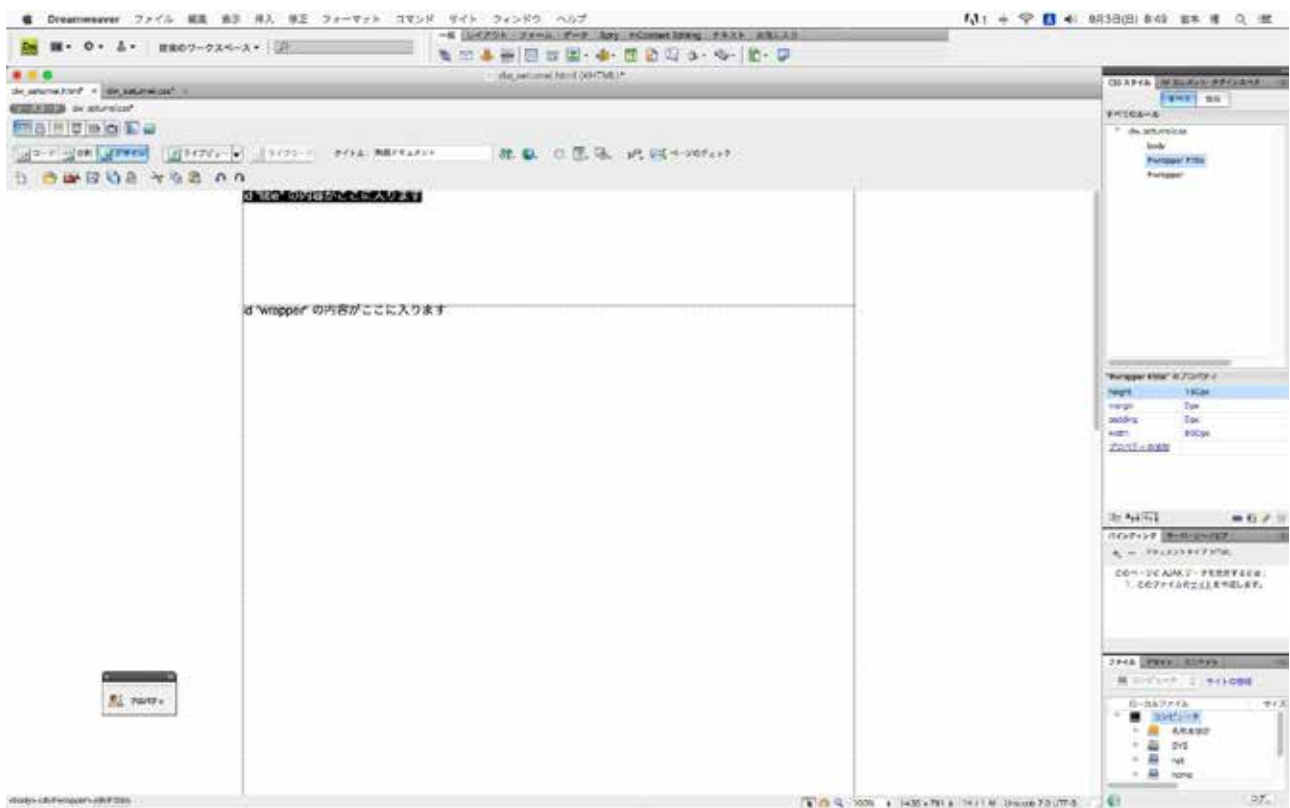
複合(選択に基づく)  
→名前が出てくる





**27** 各数値を設定

**28** このようになる



この作業を繰り返して  
レイアウトをしていく